

ル所ニ依リマスト、マダ東京へ乗入レルニハドウ云フ風ニシテ乘入レルノカ、高架デ乘入レルノカ、地上デ乗入レルノカ、地下デ乗入レルノカ、御決リニナッテ居ナイト考ヘマスガ、今回ノ地下鐵道敷設ノコトニ考ヘ及ビマスコトヲ御決定ニナラナケレバ、將來高速地下鐵道トノ關係ニ於テ、地下鐵道敷設ノ方方法デ、如何ナル地點ニ乘入レルカト云フニ於テモ非常ニ不便デアルシ、又地下鐵道ノ路線ノ決策ニ付テ幹線ノ東京ニ乘入レルコトヲ御決定ニナラナケレバ、幹線ノ方ニハ非常ニ不得策ナ、不利益ナコトモ生ズルト思フノデアリマス、此ノ地下鐵道ノ路線ヲ決メルト同時ニ、是ハ其ノ以前ニ東海道新幹線ノ東京乗入ノ方法及び地點ト云フモノヲ大體御決定ニナラナケレバナラヌト思フノデアリマス、私ノ承ッタ所ガ間違デアルナラバ……既ニ決シテ居ルノカモ知レマセヌガ、決シテ居リマスカドウデアリマスカ、又之ヲ地下鐵道ノ路線決定ニ先ダツテ急速ニ決メケレバナラヌト云フコトヲ、鐵道省ニ御考ニナツテ居リマスカドウカヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(鈴木清秀君) 久保田男爵ノ只今申サレマシタコトハ、地下鐵道ノ建設及び幹線ノ建設トノ間ニ於キマシテ非常ニ重大ノコトダント存ジマスルガ、只今幹線ノ東京乗入ノ「ルート」ニ付キマシテハ、マダ決定シテ居ラナイノデアリマシテ、今東京へ入リマスルコトニ付キマシテ、停車場ノ位

置ヲドウスルカト云フコトヲ第一ニ考ヘナケレバナリマセヌ、即チ東京市内ニ於ケル停車場ヲ何處ニスルカ、從來ノ如ク東京驛ニスルカ、他ノモノニスルカト云フコトガ

ル所ニ依リマスト、マダ東京へ乗入レルニハドウ云フ風ニシテ乘入レルノカ、高架デ乘入レルノカ、地上デ乗入レルノカ、地下デ乗入レルノカ、御決リニナッテ居ナイト考ヘマスガ、今回ノ地下鐵道敷設ノコトニ考ヘ及ビマスコトヲ御決定ニナラナケレバ、將來高速地下鐵道トノ關係ニ於テ、地下鐵道敷設ノ方方法デ、如何ナル地點ニ乘入レルカト云フニ於テモ非常ニ不便デアルシ、又地下鐵道ノ路線ノ決策ニ付テ幹線ノ東京ニ乘入レルコトヲ御決定ニナラナケレバ、幹線ノ方ニハ非常ニ不得策ナ、不利益ナコトモ生ズルト思フノデアリマス、此ノ地下鐵道ノ路線ヲ決メルト同時ニ、是ハ其ノ以前ニ東海道新幹線ノ東京乗入ノ方法及び地點ト云フモノヲ大體御決定ニナラナケレバナラヌト思フノデアリマス、私ノ承ッタ所ガ間違デアルナラバ……既ニ決シテ居ルノカモ知レマセヌガ、決シテ居リマスカドウデアリマスカ、又之ヲ地下鐵道ノ路線決定ニ先ダツテ急速ニ決メケレバナラヌト云フコトヲ、鐵道省ニ御考ニナツテ居リマスカドウカヲ承リタイト思ヒマス

○男爵久保田敬一君 内務大臣ガオイデニナリマシタラバ私ハ此ノ交通行政ノ統一ノコトニ付テ、殊ニ地方鐵道ト軌道ノコトニ付テ同ヒマシテ、其ノ上デ以テ鐵道大臣ニ付ヒタイト思シテ居タノデアリマスガ、内務大臣ガオイデニナリマセヌカラ、其ノ前ニ

鐵道大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマスガ、今回ノ地下交通營團ノ如キモノヲ御作リニナリマシタノハ、交通調整法ノ一手段トシテ御作リニナッタモノト思フノデアリマスガ、此ノ交通調整ニ對シテ最モ根本ヲ爲スモノハ、交通行政ノ統一デナケレバナラヌト思フノデアリマス、此ノ交通

重大ノ問題デアリマシテ、是ハ我ガ國ノ將來ニ於ケル發達ニ對シテモ非常ニ影響ヲ及スモノデアラウト思ヒマスノデ、其ノ點ニ付テ可ナリノ調査ト苦慮トヲ回ラシテ居リマス、又其ノ地點ガ決リマシタ時ニ、コトヲ御決定ニナラナケレバ、將來高速地下鐵道トノ關係ニ於テ、地下鐵道敷設ノ方方法デ、如何ナル地點ニ乘入レルカト云フニ於テモ非常ニ不便デアルシ、又地下鐵道ノ路線ノ決策ニ付テ幹線ノ東京ニ乘入レルコトヲ御決定ニナラナケレバ、幹線ノ方ニハ非常ニ不得策ナ、不利益ナコトモ生ズルト思フノデアリマス、此ノ地下鐵道ノ路線ヲ決メルト同時ニ、是ハ其ノ以前ニ東海道新幹線ノ東京乗入ノ方法及び地點ト云フモノヲ大體御決定ニナラナケレバナラヌト思フノデアリマス、私ノ承ッタ所ガ間違デアルナラバ……既ニ決シテ居ルノカモ知レマセヌガ、決シテ居リマスカドウデアリマスカ、又之ヲ地下鐵道ノ路線決定ニ先ダツテ急速ニ決メケレバナラヌト云フコトヲ、鐵道省ニ御考ニナツテ居リマスカドウカヲ承リタイト思ヒマス

○男爵久保田敬一君 内務大臣ガオイデニナリマシタラバ私ハ此ノ交通行政ノ統一ノコトニ付テ、殊ニ地方鐵道ト軌道ノコトニ付テ同ヒマシテ、其ノ上デ以テ鐵道大臣ニ付ヒタイト思シテ居タノデアリマスガ、内務大臣ガオイデニナリマセヌカラ、其ノ前ニ

鐵道大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマスガ、今回ノ地下交通營團ノ如キモノヲ御作リニナリマシタノハ、交通調整法ノ一手段トシテ御作リニナッタモノト思フノデアリマスガ、此ノ交通調整ニ對シテ最モ根本ヲ爲スモノハ、交通行政ノ統一デナケレバナラヌト思フノデアリマス、此ノ交通

行政ノ統一ガナケレバ此ノ運用ハウマク行カナイト思フノデアリマス、今日御存ジノリマス、又其ノ地點ガ決リマシタ時ニ、付テハ大藏省ガアリマシテ、或一ツノ港灣乗入レル場合ニ於キマシテ、如何ナル方法デ乘入レルカ、久保田男爵ノ言ハレル如ク地下デ乗入レルト云フコトハ可ナリ考ヘラレル問題ダト思フノデアリマスルガ、サウ云フ點ニ付テノ問題モ、今併セテ數多ノ路線ヲ考慮シナガラ今研究シテ居ルノデアリマス、唯其ノ路線決定ガ地下鐵道ノ路線ノ決定前ニ決定シナケレバナラナイ、出來ルナラバ我々モサウ致シタイト考ヘテ居リマスルガ、御存ジノ如ク大體ニ於キマスル所ノ地下鐵道ノ路線ハ出來テ居マスノデ、其ノ路線ニ於ケル工事が今後問題トナル、或ハ其ノ施行方法ガ問題トナルノデアリマセウガ、ソコラノ進捗ニ差支ナク、又幹線ニ支障ノナイ時期ニ成ルベク早く其ノ東京ノ地點竝ニ乗入ヲ決メタイト考ヘテ居リマス

○男爵久保田敬一君 内務大臣ガオイデニナリマシタラバ私ハ此ノ交通行政ノ統一ノコトニ付テ、殊ニ地方鐵道ト軌道ノコトニ付テ同ヒマシテ、其ノ上デ以テ鐵道大臣ニ付ヒタイト思シテ居タノデアリマスガ、内務大臣ガオイデニナリマセヌカラ、其ノ前ニ

鐵道大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマスガ、今回ノ地下交通營團ノ如キモノヲ御作リニナリマシタノハ、交通調整法ノ一手段トシテ御作リニナッタモノト思フノデアリマスガ、此ノ交通調整ニ對シテ最モ根本ヲ爲スモノハ、交通行政ノ統一デナケレバナラヌト思フノデアリマス、此ノ交通

農林省ガアリ、商業ニ付テハ商工省ガアリ、其ノ省ニ付テハ商工省ガアリ、又之ヲ企畫院アタリデ企畫致スカ知レマセスガ、兎ニ角其ノ根本ヲナス所ノ交通ヲ全通り此ノ交通ノ行政ト云フモノハ鐵道省アリ、内務省アリ、遞信省アリ、又港灣等ニ付テハ大藏省ガアリマシテ、或一ツノ港灣モ…迄モト言シテハ失禮デスガ、文部省ガ氣象臺ナドノコトヲ管理シテ居ラレルノデ、十省モ關係ガアルト云フコトヲ承ッテ居ルノデアリマス、非常ニ複雜多岐ニ瓦ツテ居ルノデアリマス、之ヲ交通ニ關スルコトハ統一ヲシテ、行政ヲ統一シナケレバナラヌト思フノデアリマス、今回企畫院カラ發表サレマシタ交通行政ノ要綱ト云フモノヲ見マスト、是ニハ色々ノ細カイコト迄全部要綱ガ出テ居リマスガ、交通行政ノ統一ト云フコトハ一ツモ出テ居ラナイノデアリマス、是ハ鐵道省ガ交通ノ今一番大キナ所ヲ司シテ居ラレルノデアルカラ、鐵道省アタリガ此ノ交通行政ノ統一ト云フコトニ付テハ、大イニ御考ニナラナケレバナラヌコトダント思フノデアリマス、現ニ今回企畫院ガ交通行政ノ要綱ト云フモノヲ御出シニナッテ居ル、サウ云フモノハ茲ニ交通省ト云フモノガアツテ、交通行政ヲ司ル所ノ省ガアツタナラバ、其ノ省ガ主管トナツテ之ヲ、要綱ヲ出スベキモノデアル、處ガ茲ニハ不幸ニシテサウ云フモノガナイカラシテ、ソレデハレルノガ一番有效デアルト思フノデゴザイマス、ソレ等ニ對シテ、云フコトハ、目下ノ一番ノ急務デハナイカト云フヤウナコトガアリマス際ニ、斯ウ云フコトヲ考ヘラレルノガ、幸ヒ今官廳機構ノ改道、海陸空等ノ交通ノ行政ノ統一ヲ圖ルト云フコトハ、目下ノ一番ノ急務デハナイカト思フノデアリマス、幸ヒ今官廳機構ノ改道、海陸空等ノ交通ノ行政ノ統一ヲ圖ルト云フコトハ、目下ノ一番ノ急務デハナイカト思フノデアリマス、斯ウ云フコトニ對シマシテ鐵道大臣ノ御意見ハ如何デアリマスカ、承リタイト思ヒマス

○國務大臣(小川郷太郎君) 久保田男爵ノ御質問ハ御尤モト存ジマス、大體私共モサウ云フ考ヲ持ツテ居リマスノデ、御話ノ交通政策要綱ヲ最近発表致シマシタ、是ハ企畫院ガ出シタト云フヤウニ御話ガアリマシタガ、鐵道省モ遞信省モ、其ノ他ノ省モ相當之ヲ立テマスニ付テ相談ヲシマシテ、最近書イテ居ルコトガアリマス、チヨット念ノ閣議ニ決定シテ發表シタノデアリマス、其爲ニ其ノ關係ノ所ヲ申上ゲマス、基本方針

ト致シマシテ、高度國防國家體制完成ヲ目

途トシ日滿支ノ鞏固ナル結合ヲ根幹トスル大東亞共榮圈ヲ確立セムガ爲ニ、是ガ基本的要素タル交通ノ使命ニ鑑ミ、皇國ヲ核心トスル大東亞ノ綜合的有機的交通體制ノ確立ヲ期ス、其ノ中ノ一、交通施設ノ計畫的整備擴充ヲ圖ルト共ニ、之ガ運用ノ統制ヲ強化ス、是ガ爲ニ交通ニ關スル行政諸機構ノ整備統合ヲ圖ル、御尋ノ所ハ此ノ交通ニ關スル行政諸機構ノ整備統合ヲ圖ル、此處ニ該當スルノデアリマス、是ハ極メテ抽象的ニ書キ下シテアリマスガ、併シ此ノ案文ヲ起シマス時ニ相當此ノ問題ニ付テハ意見ノ交換ヲシタノデアリマシテ、行政諸機構ノ整備統合ヲ圖ルト云フノハ、唯内地ノ交通行政機構ニ止ラナイデ、日滿支關聯シテ居ル限度ニ於キマシテ行政諸機構ノ整備統合ヲモ考ヘル、斯ウ云フコトニ詰合シテ居リマス、從ツテ此ノ交通ノ問題ニ付キマシテハ、陸運ニ關スル限りハ鐵道省ガ内地ニ於テ指揮權ヲ持ツテ居ルバカリデナク、大陸方面ニ於テモ常ニマア指導ノ位置ニモ立チ、互ニ提携シ、助ケ合ツテ居ルヤウナ譯デアリマスカラ、行政諸機構ノ整備統合ヲ圖ル場合ニ於キマシテモ、サウ云フコトヲ考ノ中ニ入レテ、何トカ適當ナ方途ヲ講ズル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、併シナガラ是ハマダ具體的ニドウ云フ風ニスルノカト御尋ニナリマスト云フト、ソコ迄ハッキリ熱シテ居リマセヌカラ申上ガラレマセヌ、内地ノ交通行政諸機構ノ整備統合ト云フコトニナリマスト、是モソレヂヤ具體的ニドウ云フコトヲスルカト言ハレマスルト、今日ハッキリシタ御答ヲスル迄ニハ參ッテ居リマセヌ、併シ今日ノ交通ニ關スル行政機構ガシテ居リマセヌカト言ハレマセヌ、非常ニ物ヲ運

シテ行ク上ニ、事ヲ處理スル上ニ遺憾ノ點
ガ多イノデアリマス、之ヲモット良クシテ行
クト云フ立場デ、此ノ交通行政諸機構ノ整
備統合ヲ圖リタイト思ツテ居リマス、現ニ必
要ニ迫ラレマシテ、鐵道省、遞信省ハ此ノ
内閣ガ出来マシテカラ後、色々ノ問題ヲ圓
満ニ解決スル爲ニ協議ヲシテ居ルヤウナ譯
一回ヅ、開イテ居ルノミナラズ、地方ノ鐵
道局、遞信局等デ、其ニ其ノ地方ノ交通問
題ヲ解決スル爲ニ協議ヲシテ居リマシテ、特
デアリマシテ、港灣ノ問題ナンカハ更ニ内
務省ナリ大藏省ナリニ關係ガアリマスカラ
大藏省、内務省ノ人モ加ツテ居リマシテ、特
ニ大藏省ノ稅關ノ方ニ參加シテ貴ヒマシテ、
地方デサウ云フ會議モヤツテ居リマスルシ、
又中央ニ於キマシテモ遞信省、鐵道省デ相
談ヲシマシタコトヲ、内務省、大藏省ノ方
デ話合ツテ居ルト云フ譯デ、現在ノ機構ニ於
キマシテオ互ニ聯携ヲシテ、交通問題ヲ圓
滿ニ解決シヨウト云フコトニ進ンデ居リマス
ノデ、其ノ趣旨ヲ擴充シ、或ハモット之ヲ機
構ノ上デ具體的ニ現シテ行クト云フコトニ
シタイト考ヘテ居リマス

構ナドニ關係スルコトガナクテ行ケル、全ク人ノ運用ノ關係ダト思フノデアリマスガ、ソレガウマク行カナイト云フノハ鐵道省ニハ鐵道大臣アリ、遞信省ニハ遞信大臣アリ而シテ其ノ下ニ下僚ガドッサリ居リマシテ、各、其ノ任務ガ分レテ居ルカラシテ、色々不自由ノコトガ生ズルノデアリマシテ、之ヲツノ行政機構ニシテシマヘバ、モット今ヨリモヨリ良キ運用ノ妙ヲ發揮スルノデヤナリカト思ハレマス、殊ニ外地ノコトニ對シマシテ、鐵道大臣ハ鐵道ニ關スル限りハ鐵道省ガ主管シテ居ルヤウニ仰セラレマシタガ、是ハ觀念的ニ申セバ鐵道省ガヤル、又会迄ノ何ト申シマスカ、習慣ト申シマスカ、鐵道省ガヤルヤウニナツテ居ルノデ、例へバ北支ニ於テモ中支ニ於テモ、支那ニ於テ鐵道ニ人間が足リナイナラバ、鐵道省カラドンヽ人ヲ出ス、資材ガ足リナイトスレバ鐵道省カラ出シテヤルト云フコトニナツテアリ居ルケレドモ、是ハ如何ナル法規ノ根據ニ依テオヤリニナルノカ分ラナイ、私共ハ法律ノコトニ付テハ非常ニ幼稚ナモノデアリマスカラ尙分リマセヌガ、鐵道大臣ハ日本内地ノ鐵道ノ管轄權ハ持ツテオイデニナル併シ樺太ノ鐵道ハ樺太廳長官ガ管理シテ居ル、臺灣ノ鐵道ハ臺灣總督ガ管理シテ居ル、朝鮮ノ鐵道ハ朝鮮總督ガ管理シテ居ル、殊ニ滿洲ニ於ケル所ノ南滿鐵道ノ如キハ、是ハ拓務省ノ管轄デアル、外地ト云フコトカラ見マスレバ、若シ北支ガ多少デモ満洲トノ連絡ガアリトスレバ、北支ニ於ケル所ノ鐵道ノミニ關スル限りハ是ハ滿鐵ノ延長ト考ヘテ然ルベキモノデアルカモレナイ、サウシタナラバ拓務大臣ガ其ノ管理ヲシテ居ルノデヤナイカト云フヤウニ干

思ハレル、鐵道大臣ハドウ云フ權限デ以テ、
ドウ云フ法規ニ依テ外地ノ鐵道ニ對スル
所ノ關聯ヲ持ツテ居ラレルノカ、私共ニハ
分リマセヌ、現在ハ實際上ニ於テソレヲヤツ
テ居ラレルヤウナ譯デアッテ、前ノ議會ニ
於テモソレヲ質問シマシタ處ガ、實際ノ運
用ニ依テヤツテ居ルノダカラ、差支ナイヂ
ヤナイカト云フ御考デアッタヤウデアリマ
スケレドモ、突込ンデ考ヘテ見マストサ
ウ云フ權限ガアルト云フカ、ナイト云フカ、
私ハ存ジマセスガ、大ッピラデ以テ外地ノ
鐵道ニ口ノ出セルト云フ所ノ、鐵道省ニソ
レダケノ權限ガナインデヤナイカト云フ風
ニモ思ハレルノデアリマス、斯ウ云フ點ハ
若シ茲ニ日本ノ交通省ト云フモノガ出來テ、
日本ノ交通省デアルカラ日本關係ノ交通ノ
政策ニ付テハ、總テ之ヲ自分が關係シテ居
ルノダト云フコトニナルト、大イニ趣ガ違
フト思フノデアリマス、サウ云フ點ハ如何
ナモノデアリマセウカ、大臣ノ教ヲ請ヒタ
イト思ヒマス

シタヤウニ、支那、満洲ノ鐵道ト云フモ
ノハ帝國ノ鐵道ト云フモノガ多分ニ指
導ヲシテ居ルト云フコトニナツテ居ル
ト思ヒマス、又サウシナケレバ事實ヤツテ
行ケナイノダト考ヘテ居ルノデ、私ハソ
レヲ法制ノ上ニモ官制ノ上ニモ何トカ
根據ヲ得タイ、斯ウ云フ考デ以前申上ゲマ
シタヤウニ、交通ニ關スル行政機構ノ整備
統合ヲ圖ルト云フ中ニハ唯内地ダケデハナ
イ、日滿支ニ亘ツテ行政機構ノ整備統合ヲ
圖ル、斯ウ云フコトニ考ヘテ居ルノデアリ
マシテ、其ノ事ハ企畫院ナリ、其ノ他ノ關
係省ニモ寄リ／＼話合ヲシテ居ル譯デアリ
マシテ、是カラ後ニ其ノ實際ヲドウスルカ
ト云フコトヲ考ヘテ行キタイト思ツテ居リ
マス

思ヒマスガ、此ノ資材ノ供給ニ於キマシテ
物動計畫、其ノ他トノ御話合ト云ヒマスカ、
豫メ御相談ガ出來テ居ルノデアリマスカ、
ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス
○政府委員(大山秀雄君) 地下鐵道ヲ建設
スルニ付キマシテハ、勿論相當不足致シテ
居リマスル鐵ヲ多量ニ要スルノデアリマス、
ソレデ此ノ時期ニ於テサウ云フ資材ノ手當
ガ出來テ居ルカト云フ、又其ノ話合ガ出來
テ居ルカト云フコト、誠ニ御尤モナ御尋ダ
ト思フノデアリマス、實ハ此ノ法案ヲ作リ
マス途中ニ於キマシテモ、關係ノ向ト色々
話ハ致シテ居リ、相當ノ御援助ハ願ヘルコ
トニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、差當リ十
六年度ト云フモノニ付テハ此ノ問題ガ起キ
ナイト思ツテ居ルノデアリマス、物動計畫ニ
付キマシテ勿論今後此ノ問題ニ付キマシテ
ハ最善ノ努力ヲ、打合セラ致シマシテ目的
ヲ果シタクト考ヘテ居リマス
○男爵久保田敬一君 先日來地下鐵道ノ建
設ニ付テ非常ニ早クヤリタイト云フ御話ガ
アリマシテ、大臣、政府委員カラモ一年ニ
五「キロ」ヤリタイ、又曾我子爵ハ五「キロ」
デヤ少イカラモットドンヽヤッタラ宜イ
ト云フ話ヲ聽キマシテ、非常ニ勇シイ話ダ
ト思ツタノデアリマスガ、實際ニソソナニ出
來ルモノデナイト私ハ信ジテ居リマス、現
ニ只今出來テ居リマス所ノ東京地下鐵道ハ
八「キロ」ノ線路ヲ何年カ、リマシタカ、約
七、八年モカ、ツテヤッタノデハナイカト思
ヒマス、又早ク出來マシタ所ノ東京高速度
三年位カカツテ作ツテ非常ニ早イト言ハレタ、

シク、又心強ク思フケレドモ、實際ニソシ
ナニ出來ルモノデハナイト私ハ信ジテ居リ
マス、殊ニ只今申上ゲマシタ實例ノ如キハ、
資材ノ供給ガ自由デアツタ時ニサウデアル、
是ガ資材竝ニ勞働力ガ窮屈ニナツテハナカ
ナカサウハイカナイト思ヒマス、併シナガ
ラ此ノ地下鐵ハ一日モ早ク作ルコトガ肝要
デアルカラ、此ノ資材ノ供給ト云フコトニ
付テハ十分ノ優先權ト云ヒマスカ、優先配
給ヲ受ケルヤウニ物動計畫ノ方トモ御話合
ニナツテ、十分ノ御努力ヲ當局ニ願ヒタイト
思ヒマス

此ノ地方鐵道ト同ジヤウニ出來ナイト云フ
事情ガアリマシテ、軌道ハ鐵道大臣及内務
大臣ノ共管ニナツテ居ルノデアリマス、大キ
ク問題ヲ論ジテ道路トカソレカラ鐵道、ソ
レカラ空路海路、斯ウ云フヤウナモノヲ交
通ト云フ一つノ範疇ニ入レテ、サウシテ交
通行政ヲヤッタラ宜イデヤナイカト云フ、此
ノ見地カラ交通省ノ問題モ考ヘラレテ居
ルノデスガ、大キナ考ヘ方デアリマシテ、
理想的ニ非常ニ結構ダト思フノデアリマス、
併シ其處迄行カヌ所デ、交通行政ト云フモ
ノヲドノ點テ限ツテ調整スルカト云フ問題
ニナルト思フノデアリマス、現在ハ今御話
ニナツタヤウニ、道路關係ハ内務省、鐵道關係ハ
鐵道省ト、斯ウ云フコトニナツテ居リ
マスノデ、自然軌道ト云フモノハ内務省ト
鐵道省ガ兩方共管轄スルト云フコトニナツ
テ居ル譯デアリマス、ソレハ道路行政ト鐵
道行政ト云フモノヲドウ云フ所デ一緒ニヤ
リ、又之ヲ分ケルカト云フ根本問題ガアル
グラウト思ツテ居リマス、軌道ニ付キマシテ
ハ、此ノ軌道ニ依ツテ運輸機關ヲ動カスト
云フコトニ重キヲ置クモノハ、或ハ地方鐵
道法ニ依ルト云フヤウナ風ノ取扱ヒ方ガ出
來ナイノデヤナイカト思フノデアリマス、
現行法制上ニ於キマシテハ御話ノ通リニナツ
テ居ル譯デアリマス、斯フ云フコトニ付
キマシテ非常ニ研究ヲ要スル問題グラウト
考ヘルノデアリマス

ナイヤウニ、只今田所サンノ御話ノアリマ
シタ通リナシニデス、鐵道省ニ於テハ是ハ何
トカシテ一ツニシタイト思ッテ居ルケレド
モ、内務省ノ御都合デ以テナカヽサウハ
ナラナイト思ッテ居リマシタガ、只今鐵道大
臣ノ御言葉ヲ聽キマシテ、鐵道大臣モ亦法
制上ハ斯ウ云フ風ナモノガアル方ガ良イノ
ダト云フ御考ガ、少シデモアルト云フコト
ヲ承ッテ私非常ニ驚イタ、早イ例ヲ申シマ
スト、東京ノ地下鐵ト云フモノハ地方鐵道
法ニ依ッテヤッテ居ル、大阪ノ地下鐵ト云フ
モノハ軌道法ニ依ッテヤッテ居ル、何デ此ノ
東京ノ地下鐵ハ地方鐵道法ハ道路ニ關係スル
ノデアリマスルカラヤルノダト云フ御話方
カト云フコトハ全然分ラナイ、只今御話ニ
ナリマシタヤウナ軌道法ハ道路ニ依ッテヤリ、大
阪ノ地下鐵ノ方ハ軌道法ニ依ッテヤッテ居ル
アリマシタガ、現ニ東京ノ地下鐵ハ道路ノ
下ニ出來テ居ル、然ルニ是ガ地方鐵道法ニ
依ッテ居ル、而モ驚クコトニハ東京地下鐵ノ
起工命令ト云フモノハ鐵道大臣ト内務大臣
ガヤツテ居ル、地方鐵道ト云フモノハ鐵道
大臣ノ主管デアリマス、然ルニ是ガ道路ノ
下デアルカラト云フノデ、内務大臣カラモ
起工命令ガ出テ居ル、サウシテ見レバ何ノ
爲ニ地方鐵道ト軌道トヲ分ケテアルカト云
フコトハ全然意味ヲ成サナイ、斯ウ云フ意
味ノモノデアリマスカラ、鐵道省ノ事務當
局ニ於テハ、私ガサウ云フコトヲ申スノハ
甚ダ僭越デアリマスケレドモ、恐ラク地方
鐵道ト軌道トヲ一ツニシテ、便宜ノ方法デ以テ
道路ノ下ニアツタ時ニハ内務省モソレニ關係ス
ルヤウナ方法ヲ執ッタガ宜イデヤナイカト云
フノデアラウト思ヒマス、然ルニ今鐵道大臣
ノ御話ニナリマシタヤウナ、道路ニ關係ス

アルカラ此ノ法規ハ其ノ儘ニ置イテ置クノ
軌道法ニ依リマスト、鐵道大臣ト内務大臣ト
ノ共管ニナツテ居ル爲ニ、其ノ手續ガ非常ニ
面倒ダ、地方廳アタリニ願書ヲ出しシマスニ
シテモ、同ジ圖面ヲ二通モ三通モ餘計ニ出
サナケレバナラヌ、認可ニナル期間ト云フ
モノガ非常ニ長イ、ソレデアリマスカラ民
間業者ニ於キマシテモ成ルベクハ軌道法ト
云フモノハ止メテ、地方鐵道法ニ依リタイ
ト云フコトモ考ヘテ居リマス者モアリマス
シ、尙軌道法ノ規定ト云フモノハ非常ニ簡
單ナモノデ、割合ニ緩ヤカナモノデアル、
鐵道ニ關スル所ノ嚴重ナ所ノ規定ト云フモ
ノハ地方鐵道法ニアルノデアリマスカラシ
テ、鐵道省方監督スル上カラ言テモ地方鐵
道法ニ依ラセル方ガ宜イト思フ、現ニ大キ
ナ鐵道、此ノ附近デアリマシテハ京成鐵道
ニ大キナ鐵道ガ軌道法ニ依ツテ居ル、何デ軌
道法ニ依ツテ居ルカト云フト、東京附近ノ鐵
道ハ「ゲーデ」ガ四「フイート」六「インチ」デ
アリマスカラ、是ガ地方鐵道ニナイ、ソレ
デアリマスカラ軌道法ニ依ル、大阪ノ方ハ
「ゲーデ」ガ四「フイート」八「インチ」半デア
ルガ、道路ノ上ニ敷設シテアルカラ軌道法
ニ依ル、處ガ大阪ノ方ハ改良シマシテ殆ド
道路上ニ載ツテ居ル軌道ハ、是ハ地方鐵道法
ニ依ルコトニスレバ、モウ全然軌道ト云フ
モノハ、或ハ東京ノ電車デアルトカ、地方
ノ小サナ鐵道デアルトカ云フヤウナ極ク町

ノ中ノモノニ限ラレ、バ官イコトニナル、
鐵道大臣ガ只今ノヤウナ御話ヲナサルト云
フコトハ、是ハ全ク今迄色々我々ガ、軌道
ト地方鐵道トヲ一緒ニスル方ガ、一緒ニ當
然ナルベキコト考ヘテ居ツタコトニ對スル
非常ナ逆行ナシダ、私ハ只今ノ御話ヲ聽イ
テ非常ニ驚イタノデアリマスガ、如何デア
リマスカ

○國務大臣(小川郷太郎君) 私ハ只今久保
田男爵ノ御話ニナルヤウナ積リデ話ヲセナ
カツタト思ヒマスガ、私ノ言葉ガ不十分デ
アッタカト思ヒマス、現行デハ此ノ軌道ト云
フモノガ道路使用ヲ原則トシテ居リマスノ
デ、是ガ内務省ト鐵道省トノ共管ニナシテ居
ル、併シ之ヲ全部交通ニ關スル行政機構ヲ
整理統合スルト云フヤウナコトニナレバ、
斯ウ云フ點ハ大いニ考究スル問題ニナルノ
デヤナイカ、斯ウ云フ風ニ私ハ御答ヘシタ
ト思ツタノデアリマスガ、鐵道ノ行政カラシ
マシシテ斯ウモアリタイト希望シテ居リマ
ス所ハ、今久保田男爵ノ御話ノアッタ所ト
同様デアリマス、ケレドモ現行ハサウハナツ
テ居ナイ、田所サンハ内務省ニ居ツタカラ、
其ノ時分カラ今モサウカト云フ風ノ御話ガ
アツタカラ、今モ其ノ通リダト云フコトヲ申
上ゲタニ過ギマセヌカラ、ドウカ左様ニ御
了承ヲ願ヒマス

○委員長(子爵爵秋元春朝君) 次田君ニ申
上ゲマスガ、内務大臣ハナカノ御出席ガ出
來ナイサウデアリマス、今内務次官ガ御出
席ニナリマシタガ、如何デスカ

○次田大三郎君 己ムヲ得ナイカト思ヒマ
ス

○政府委員(菅場軍藏君) 久保田男爵及次
田委員カラ内務大臣ニ答辯ヲ求メラレテ居

ルノデアリマスガ、甚ダ申譯ゴザイマセヌ
ガ、内務大臣ガ只今出席致シ兼ネマスノデ、
内務大臣ノ答辯ヲ私ガ代讀致シマスカラ、
御了承願ヒタイト思ヒマス「地下鐵道ハ空襲
時ニ於ケル交通機關トシテノ防空上ノ效果
ヲ期待スルモノデアリマス、防空壕其ノ他
防空上ノ施設ニ付テハ雷ニ地下鐵道ニ對シ
テノミナラズ、他ニモ必要ナモノガ多クア
リマスノデ、是等ノ點ニ付テハ防空法ニ基
キ速カニ計畫ノ具體化ヲ圖リ、明年度以降
ニ於テ之ニ必要ナル立法上及豫算上ノ措置
ヲ講ズル心底デアリマス」以上内務大臣ノ
答辯ヲ代讀致シタ次第デアリマス
○次田大三郎君　只今ノ御答辯デ内務大臣
ノ御意思ノアル所ハ分リマシタデスガ、念
ノ爲確メテ置キタイ、防空ノコトヲ管轄シ
テ居ラレル内務大臣トシテハ、此ノ地下鐵
道ニハ交通機關トシテノ働、空襲時ニ於テ
交通ノ杜絶シナイヤウニ地下鐵道ガ其
ノ官能ヲ發揮スルト云フコトヲ期待シテ居
ラレルダケデ、ソレ以上ノコトハ考ヘテオ
イデニナラヌ、サウ解シテ宜シゴザイマ
スカ、ト申スノハ、此ノ委員會ニ於ケル質
問應答ノ模様ヲ見マシテモ、地下鐵道
ノ施設ニ向ツテ防空上ノ施設ヲ……地下鐵
道ヲ一方デヤッテ、サウシテ其ノ上ニ大キナ
防空上ノ施設ヲスルト云フコトハ、迎モ六
億六千萬圓ヲ以テシテモ出來ナイダグラウト
思フヤウナ、サウ云フ意見ガ出タ程ナノデ
アリマス、ソレハ發案ノ理由書ノ中ニ防空
ト云フ點ヲ謳ヅテアリマスシ、又政府ノ御説
明ノ中ニモ、是ハ防空ニ役立ツノダト云フ
ハ、ソレハ行過ギナノデ、防空ノ方ハ防空

トシテ防空ノ方ニ老ヘルヘキコトテ
鐵トシテハ、空襲時ノ交通ヲ確保スルト云
フ以上ノコトヲ要求スルコトハ無理デアル、
斯ウ思セマスノデ此ノ質問ヲ致スノデアリ

○政府委員(舊場軍藏君) 私只今讀上ゲマ
シタノハ、内務大臣ノ答辯書ヲ讀上ゲタノ
デアリマシテ、是カラ申上ゲマスノハ内務
大臣ノ御意思デアルカドウカ、申上ゲ兼ネ
ニクイノデアリマスガ、宜シウゴザイマス

アリマスカラ、政府ノ御意思トシテ伺ッテ宜
イノデヤナイカト思フノデスガ、内務大臣
ハ主管大臣トシテ、政府ノ御方針ハ即チ内
務大臣ノ意思トシテ發表ニナルノデヤナイ
カ、サウ思ヒマスガ……

タ文言ノ中ニモアリマス通り、内務省ト致シマシテ、防空上ノ施設ニ付キマシテハ地下鐵ノミニ期待シテ居ラナイト云フコトヲ讀上ゲタノデアリマス、大體只今次田サンノ御意見ノ通り、私共ハサウ考ヘテ居リマス、恐ラク内務大臣モサウヂヤナナイカト思ヒマス

○次田大三郎君 私是デ宜シウゴザイマス
○委員長(子爵秋元春朝君) チヨット速記
ヲ止メテ……

○委員長(子爵秋元春朝君) 速記始メ……
○田所美治君 内務省ノ御答テ、私モ初メ
カラ申上ガテ居ル點モ了解シタノデアリマス
ガ、防空ノ關係ヲ深ク入ッテ研究スル場合デ
モナインデアリマスガ、今度地下鐵ガ出来
ルデスナ、出來ルカラ其ノ防空ノ用ニ供ス

リマスガ、鐵道大臣ノ説明ニ依レバ交通ノナツタラドウダラウカ、斯ウマア素人ノ私共ガ考ヘラレルコトヲ初メ御尋ネシタノデア一貫シテ説明シテオイデニナルカラ、ソレヲ普通ニ了解スルト云フト、防空壕ナドニモ兼用スルコトガ出來ルシト、斯ウ解釋ニモ來タモノデアリマスカラ、初メカラ私ガ出來タモノデアリマスカラ、久保田男爵アタリモ御尋ニナツタガ、説明ノ本質ヲ伺ツテ見ルト、ソレハ防空ノ場合ニ地上デハ往來ガ出來ナクナルカラ、地下鐵ヲ利用スルノダ、之ガ防空ノ用ニ利用ニナル所以ダト、斯ウ云フ御説明デ一貫サレテ居ル、ソレデハ何故今度ハ新設サレルノデアルカ、舊時ノヤツハ狹クモアルシ其ノ設備モナイカラト、ソレダケノ説明シカ御出來ニナラナイガ、今度新設サレル場合ノ交通財源ニ於テモ六億位充テテアル、補助ノ途モ聞カレテアルカラ、何故モット擴大シテ防空ノ用ニ供スルヤウナ施設ヲシマセスカ、素人ノ私共デモ直グ氣付クノデスガ、ソレニ對スル御答辯ハ、出來得ルダケ研究シテ行カウト云フコトデ一貫サレテ居タノデアリマスガ、今書イタモノヲ見マシテモ、地下高速鐵道ハ空襲下ニ於テ唯一ノ交通機關タルノ使命ヲ果スラ第一トシ、之ヲ防空壕ニ代用シテ、又地下高速度鐵道路線ニ連繫シテ防空壕ヲ建設スルコトハ、研究ノ餘地少カラズト云フ説明ノ材料モ戴イタノデスガ、固ヨリ六百萬人モ七百萬人モアル人ヲ地下

鐵ニ入レルコトハ不可能テ、何十萬人モ入
レル譯ニハ行カナイデセウガ、鐵道大臣ノ御
説明ノヤウナ譯デ、アノ規模ノモノノ中ニ
入ッタ場合ノ施設、一時的ナモノモナイト云
フコトニナレバ、附近ノ人民ハ幾ラ制止ヲ
シテモ入ツテ行クノデ、空氣ハ惡クナル、一
時的ニモ水ハナシ、殊ニ敵デモ襲來シタ場合
ニハ飛行機デ爆弾ヲ落スダケデナク、「ドイ
ツ」ノヤウナヤリ方デ、水デモ入レルト云フ
コトニナルト、水デ死ンデシマフト云フコ
トニナル、又或場合ヲ考ヘテ見ルト、發電
機械ガ止ルト交通機關ガ止ル、其ノ場合ニ
地下鐵ハマルデ遊ンデ居ル、ソコニ何等カ
ノ工合ニ施設ガナイト飲料水モナイト云フ
コトニナルト、少シ長ク居レバ色々々ノ生活
上ノ支障モアリマセウ、ソコデ一ツ出來得
ルダケノ施設ヲ爲サツテハドウデアルカ、斯
ウ思ハレルノデアリマスガ、防空ニ付テハ
色々ナ航空機ノ進歩發達ニ伴ツテ、追付カヌ
位ナモノデアリマセウ、此ノ鐵道ヲ折角營
團ヲ作ツテヤラレルト云フ場合ニ於テハ、此
ノ際一つモウ少シ深切ニ防空上ノ施設モ御
考ニナツラドウカト、即チ鐵道大臣ハ内務
省ト連絡シテ、内務省ノ主管ノ防空ノ關係
ト密接ナ連絡ヲ御執リニナツラドウカ、債
券ハ法律ヲ改正シテ六億ヲ十一億ニシテモ
十二億ニシテモ、必要ナ施設ヲヤツカラ宜イ
ト、コンナニ考ヘル、百方考ヘテ置カスト遺憾
ヲ後へ貽スコトガアルト、斯ウ思ハレルノ
デアリマスガ、來年度ニ於テ防空壕ノ關係
ナドモ多少ハ斯ウ云フ……、政府ノ意見モ
承リマシタガ、今度ノ此ノ法案ニ對シテ研
究ヲスルト云フ、斯ウ云フ意味デヤル御考
ハアリマスカ、ソレヲ伺ヒマス

防空壕ノ中ニ逃げ込マシテ、其所デ長イ間ノ生活ヲシ得ルヤウナコトヲ實ハ考ヘテ居ラナイノデアリマシテ、瞬間的ニ防空ノ業務ニ携ハル者ガ、頭ノ上ニ飛行機ガ來タ場合ニ、而モ自分ノ働く間近ノ場所ニ燒夷彈等ガ落チナイ間ニ、身ヲ庇シテ居ルト云フ意味ノ防空壕ヲ指導致シテ居リマシテ、地下鐵ナドニ色々ノ施設ヲ致シマシテ、其所ニ這入ラシテシマフ、ソレデ以テ防護シヨウト云フヤウナコトヲ致スノハ如何カト考ヘルノデアリマス、勿論病人トカ或ハ負傷シタ人ト云フヤウナモノハ、救護致サナケレバナラヌ關係上、成ルベク安全ナ場所ニト云フノデ、大キイ「ビルディング」トカ、先程申上ゲマシタ地下鐵或ハ地下室ト云フモノヲ救護所、防護室或ハ防毒室等ニシツラヘマシテ、防護スルヤウニ致シテ居ルノデアリマシテ、空襲ニ暴サレマンシタ場合ニハ其ノ場所ハ、少クトモ重要ナ場所ニ於キマシテハ、其所ニ在住シテ居ル者ガ全員防空業務ニ當ルノデアリマス、又當ラセナケレバ到底現在我ガ國ノ都市ノ構築ニ鑑ミマシテ、十分ニ防空ノ態勢ガ執レナイト思フノデアリマス、豫メ保護シテ置カナケレバナラヌ者ハ、所謂事前避難ノ形式ニ於テ、安全ナ全ナ所へ事前ニ移シテ置クベキデ、安全ナ場所ニサウ云フ人達ヲ庇ヒナガラ防空ノ仕事ヲ傍デヤシテ行クト云フ風ナヤリ方ヲ致シマスト、防空力ガ非常ニ鉋クナルデアラウト云フ考ヘ方デ、今申上ゲマシタヤウナ方針デ進メテ居ル譯デアリマス

文
苑

○二・綱泰次郎君 防衛司令官ト内務大臣ノ命令系統ト云フモノガ確然區別サレテ居ルト思ヒマスガ、其ノ職能ガ末端ヘ行キマス。

實際ニ焼夷弾ニ對ニハ浪費アリテナバヨ
小屋ヲ建テ、飛行機三臺カラ燒夷弾ヲ射
チマシテ、實際ニ之ニ火ヲ附ケマシテ、國
防婦人會ノ團體ガ不斷ノ訓練ヲ如實ニ現シ
タノデアリマスガ、處ガ婦人ノコトデアリ
マスカラ、サウ云フ大キナ火災ニナリマス
トチツモ寄リ付ケナイ、水ヲ掛けマシテモ、
モウ火ニ届クモノデモ何デモナイ、コ、デ
考ヘタノデアリマスガ、婦人ダケデハ駄目
ナンド、昨日モ私ハ訓練ノコトヲ申上ゲタ
ノデアリマスガ、男ガ實際訓練ニ當ルベキ
ノヲ、處ガ何處へ行ツテ見マシテモ、サウ云
フ方面ハ女ニ任せキリデ、男ハ散歩シテ來
ルカラオ前ヤツテ居レ、マルデ男ハ無關心デ
アル、實際ノ訓練ニ行キマスト云フト女ダケ
デゴザイマスカラ、イザト云フ場合ニハ殆
ド用ヲ成サナイト思フノデアリマス、今少
シ内務省アダリデ男ヲ強制的ニ訓練サレタ
訓練、モット力瘤ヲ入レナケレバ困ルノデヤ
ラドウカト思フ、ソレカラ第三ハ、地方ニ參
思フ、「モンペ」ヲ穿イテ外ニ出テ、少シ恰好ヲ
付ケレバソレデ宜イト云フヤウナ形式的ナ
人交替位デ三組位デヤツテ居リマスガ、是ハ

防空演習中ハ夢晝ニ一定ノ場所ニ於テ監視ヲスル、是ハ朝カラ晚迄殆ど犠牲的ニヤツチ居リマスガ、斯ウ云フモノニ對シテ内務省トシテハ多少ノ助成トカ、補助トカ云フモノハナイノデアリマスカ、又各所ニ監視哨舍ト云フモノヲ建テ居リマスガ、山ノ上ニ持ツテ行ツテ建テ居リマスカラ、相當ニ費用ガ掛ル、之モ現在ハ町村費カ何カデヤツチテ居リマスガ、斯ウ云フモノニ對シテ内務省ノ方針ハドウ云フモノデゴザイマセウカ、此ノ三占ニ付ニ御同ニ改シタク

○政府委員(藤岡長敏君) 現在ノ防空ハ、
軍防空ニ即應シテ内務大臣ガ指揮ヲスルコ
行ヒマス防空業務ハ、總テ内務大臣ガ指揮
監督命令ヲ行使致スノデアリマス、唯監視、
通信ニ關シマスル點ニ付キマシテハ、是ハ
軍ノ命令ニ依ッテスルコトニナッテ居リマス、直接在郷軍人等ガ色々防空ノ業務ヲ指導致
シマスノハ、是ハ決シテ軍司令部ノ命令ニ
依ッテヤッテ居ルモノデハナイ筈デゴザイ
マス、事實問題トシテ内務大臣、府縣知事
ノヤル防空業務ノ御手傳ヲシテ居ルノデヤ
ナイカト考ヘラレマス、次ニ第一ノ家庭防空
群、現在ノ婦人ガ「モンベ」デ「ハケツ」デア
レデヤ駄目ヂヤナイカト云フ御感想ガ各方
面ニ多イノデアリマス、實ハアレハ五「キ
ロ」位ノ程度ノ小サイ焼夷彈ガ澤山撒カレ
タ場合、其ノ初期、マダ火事ノ大キクナラ
ナイ間ニ鬪シテ消シテシマハウト云フ構想
ノ下ニア、云フ指導ヲヤッテ居ルノデアリ
マス、アレデモ相當ウマク訓練致シマスト
タ場合ニハ、勿論アレデハ十分デアリマセ
消シ得ル見込ガアルノデアリマシテ、又實
際ノ大キナ爆彈、燒夷彈等ノ攻撃ヲ受ケマシ
タ場合ニハ、勿論アレデハ十分デアリマセ

又、練返シテ申シマスヤウニ、織テ空襲ヲ受ケマス。土地ニ在住スル者ハ、全員防空活動ヲシナケレバナラヌノデアリマス、平時ノ演習ニ全部ノ人間ガ、全部戦時ト同ジヤウニ總掛リデ。防空活動ニ入ルト云フ訓練ハ、訓練トシテハ出來兼ルノデゴザイマスカラ、今申上ゲマシタヤウニ極ク初期ノ、ホンノ燃エ上ルカ、上ラナイカト云フ時ニ消シテシマハウト云フ防空訓練ヲ婦人デ以テヤッテ貫フト云フコトデ、情勢ニ依ツテハ、意ニノ男モ女モ全郡總掛リゴ方空ミ川東ヲ

○二瓶泰次郎君 大體御答辯デ了解シタノ
デスガ、男子ノ方ノ訓練ヲモウ少シ心カラ
訓練ニ參加スルヤウニ、内務省デ御指導シ
タラ如何デスカ、目下ソレガナイヤウデゴザ
イマスガ、ソレカラ第三ノ經費ト云フモノ
ガ、國庫半分地方費半分ト云フヤウナ御説明
デゴザイマスガ、大體實際掛ッタ費用ノ何割
程度ノ補助ラシテ居リマスカ、ソレヲ承リタイ
○政府委員(藤岡長敏君) 現在デモ防空訓
練ノ場合ニハ、婦人ヲ原則ニ致シテ居ルノ
デヤナインデゴザイマス、男ヲ原則ニ致シ
テ居ルノデゴザイマスガ、事實問題トシテ男
ハ大抵働くニ出マスモノデゴザイマスカラ、
已ムヲ得ズ家庭ノ主婦等ガ訓練ニ當リマスル
コトヲ、其ノ儘認メテ居ルノデゴザイマス、
決シテ婦人ヲ本體ニ訓練ラヤツチ居ルノデヤ
ナイコトヲ御了承願ヒタイト思ヒマス、ソ
レカラ監視、通信ニ關スル費用ノ點ト思ヒ
マスガ、全額ノ二分ノ一ヲ今申シマシタヤ

○二瓶泰次郎君 有難ウゴザイマシタ
○男爵久保田敬一君 質問ハ大體此ノ位ニ
シテ打切りマシテ、討論採決ヲ願ヒタイト
思ヒマス

○委員長(子爵秋元春朝君) 御諮詢致シマ
スガ、久保田君カラ質問ハ大體打切り、是
カラ討論ニ入りタイト云フ動議ガ出マシタ
ガ、如何取計ラヒマセウカ

○委員長(子爵秋元春朝君) 久保田君ノ動議ニ御賛成ノ方ガ多イト認ヌマス、仍テ質問ハ此ノ程度デ打切リマス、續イテ討論ニ入りタイト存ジマス、御發言ヲ願ヒマス
○男爵神山嘉瑞君 先日來此ノ交通營團法案ガ上程サレマシタノデ、此ノ委員會ニ於キマシテ質疑ガアツタノデアリマス、最初鐵道大臣カラ本案ニ付テノ御懇切ナル御説明ガアリマシテ、ソレニ依リマシテ其ノ後各部位ノ色々ノ御質問ニ應ジマシテ、此ノ營團ト云フ言葉、詰リ從來ニナイ特殊ノ法人デアル、營利ヲ目的トシナイ公益的ナ見地カラ見タ法人デアル、ト云フヤウナ御説明カラシテ、私トシマシテモ其ノ營團ナルモノガ、絕對國家的見地カラ考ヘラレル立場ニ置カレタモノデアルト云フコトヲ、實際了解シテ居ルノデゴザイマス、ソレデ從ビマシテ其ノ後ニ於テモ一委員カラシマシテ、實際寧口營利の目的ト云フモノハ全然考ヘナイ、公ノ國家的ノ大乗的見地カラ見タ所ノ、斯ウ云ツタ法人ヲ作ッテ仕事ヲヤルト云フコトナラバ、寧口特別會計ト云フヤウナ立場カラ考ヘ、一般會計ト云ツタヤウナ上カラ言ツテ、即チ國家的事業トシテ支出ノ方面ヲ

考へタラ宜イノヂヤナイカ、ト云フヤウナ
御議論ガアリマシタ、事程左様ニ此ノ法案
ノ趣旨ガ營利ト云フコトヲ實際度外視シ、
國家的見地カラ見タコト考へラレルノデ
アリマス、此ノ趣旨ト致シマスル所ハ、此
ノ表題ニモアリマス通リ帝都高速度交通ト
云フコトガ眼目デアリマシテ、私考へマス
ルノニ、地下鐵道ノ建設ト云フコトヲ先づ
第一ニ考へ、ソレヲ根幹トシマシテ、東京
市附近ノ行詰ツタ交通情勢ヲ緩和シヨウト
云フノガ大眼目デアルヤウニ考ヘルノデア
リマス、實際今日ノヤウニ交通ヲ見マ
シテ、市民ノ足ガ非常ニ不便デアル、又一
面考ヘマシテ今日ノヤウニ時局柄カラ見
マシテモ、空襲下ニ於テ如何ニシテ交通ヲ
完全ニ圖ルカト云フコトニナレバ、當然斯
ウ云ツタ地下鐵ノ建設ト云フコトガ必要ニ
ナツテ來ル、サウ云フ意味ニ於キマシテ、
成ル程交通ノ調整ト云フコトヲ第一眼目ニ
置クコトハ當然必要デアリマスルガ、又一
面關係當局トノ間ニ於テノ諒解ト申シマス
ルカ、資材ノ供出其ノ他ノ點ニ付キマシ
テ、圓滿ナル御取計ラヒガ付クノデアリマ
スルナラバ、昨日以來色々御説明ガアリマ
シタ通り、此ノ防空ト云フコトノ方面ニモ
一考慮ヲ願ヒマシテ、地下鐵建設ト同時
ニ此ノ防空ト云フコトヲ考ヘマスコトハ、
甚ダ困難カモ知レマセヌガ、併シ時局柄ニ
於キマシテ、一應此ノ防空ト云フコトヲ考
ヘルコトハ、我々國民ノ上カラ見テ非常ニ重大ナ
コトデアル、ソレニ加ヘマシテ許サレル範

園ニ於テ、交通ニ支障ノ無イ限リノ限度ニ
於キマシテ、今日ノ時局ニ備ヘマシテ此ノ
防空ト云フコトヲ御考慮願ヒタイ、斯ウ考
ヘルノデアリマス、固ヨリ此ノ資材ノ點其
ノ他ノ關係カラシテ、急速ニ其ノ兩様ノ目
的ヲ遂ゲルト云フコトハ甚ダ困難ナコトデ
アラウカモ知レマセヌガ、一應トモサウ云
フ氣持ハ十分ニ御考ヘ願ヒマシテ、一方交
通調整ノ大眼目ヲ果スト同時ニ、日本帝國
ト致シマシテドウシテモ考ヘナケレバナラ
ナイ此ノ防空ノコトモ御考慮願ヒタイ、斯
ウ云フ希望ノ條件ヲ附シテ、此ノ營團ノ一
日モ早ク成立セムコトヲ希望スル次第デア
リマス、私ハサウ云ツタ一面ノ意見ヲ附シ
マシテ、本案ノ促進ニ付キマシテ賛成スル
一人デアリマス

○田所美治君 本案ニ對シテ異議ゴザイマ
セヌ、折角オヤリニナリマスカラ、十分政
府部内ハ周到ナ御計畫ノ上ニ御實行ヲ願ヒ
マス

○委員長(子爵秋元春朝君) 他ニ御發言ゴ
ザイマセヌカ、討論終結ト認メマス、是ヨ
リ採決ニ入リマス、本案ハ原案通り可決シテ
御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

出席者左ノ如シ

| | | | | |
|---------------|---------|---------|---------|--------|
| 委員長 子爵秋元春朝君 | 政府委員 | 國務大臣 | 鐵道大臣 | 小川郷太郎君 |
| 副委員長 男爵久保田敬一君 | 内務次官 | 内務省計畫局長 | 内務省計畫局長 | 藤岡 長敏君 |
| 委員 田所 美治君 | 鐵道次官 | 鐵道省監督局長 | 鐵道省監督局長 | 阿曾沼 均君 |
| | 鐵道省經理局長 | 鐵道省工務局長 | 鐵道省工務局長 | 大山 秀雄君 |
| | 鐵道省需品局長 | 堀木 錦三君 | 堀木 錦三君 | 鈴木 清秀君 |
| | | | | 平山 孝君 |